

分科会予算調査報告書(平成29年度当初予算)

平成29年度予算審査抽出事業

(都市経済分科会 No.2)

(所属課, 事業コード) 事業名	(下水道課, 8002) 公共下水道整備事業 (防災・安全交付金)	
予算額	平成27年度	170,500千円
	平成28年度	191,484千円
	平成29年度	383,000千円
<p>【必要性】 <目的の妥当性, 行政が行う必要性> ・生活排水の処理は, 公共下水道の他にも農業集落排水や合併浄化槽の方法もあり, 行政が主導で行っていかねばならないものである。</p> <p>【効率性】 <目的に対する費用等の関係> ・浄化センターの長寿命化計画を策定して, 補助事業で施設の延命化ができる。 ・計画的な維持管理によって, 効率的かつ効果的な事業を行うことができる。</p> <p>【有効性】 <得ようとする効果> ・浄化センターの更新により, 維持管理のコスト削減や作業効率の改善が図られる。 ・鉢形平井雨水排水区に続き, 荒野台駅周辺地区の整備により浸水問題が解消される。</p> <p>【公平性・継続性】 <事業の公平性及び財源の安定性> ・長寿命化計画を策定することにより, 事業費の半分を補助事業として確保される。 ・荒野台駅周辺地区の雨水排水整備により, 広範囲な浸水対策の受益が見込める。 また今後は, 宮津台地区の整備を計画している。</p> <p>【調査結果】 ・浄化センターの長寿命化計画により, 公共下水道を安定して利用できる。 ・2年後にはストックマネジメント計画の策定により, 今後の維持管理や新設整備計画が一本化される。 ・雨水排水事業では, 荒野台駅周辺地区の事業計画を年度内にまとめ, 4月に県へ提出する。</p>		